



わかりにくい・難しい お役所言葉を改めては

鈴木 啓太郎 議員

問 市役所からのお便りの内容が、わかりにくいと言われていることがある。わかりやすく、やさしい言葉にしていく工夫は。

答 文章を受け取る方の立場に立って、表現が簡単明瞭で、やさしい文体、わかりやすい用語や用字を使うように、職員の研修等を充実させる。

障がい者の生活ホームを守って

問 生活ホームでの障がい者の暮らしを尊重してほしいが。

答 県の独自の補助事業として始められた生活ホームから、法定のグループホームへの移行を勧めているが、併用できるサービスが限られるので、入居者へのサービス、生活水準が維持できるように努める。



問 認知症高齢者の安全対策に個人賠償責任保険導入を考えては。

答 他人にけがをさせたり、物を壊した場合に損害賠償を補償する保険を自治体が導入する事例もある。本市では高齢者見守りネットワークなど未然に事故・事件を防ぐようにしてきているが、他市の保険導入の効果等も研究する。

認知症を患って事故を起こしたら



苗間・みほの地区

問 住居表示や町名地番整理の必要性は。

答 大変重要であると認識し、地域住民への意識調査も含め検討していく。

問 エリアを限定した町名地番整理の考えは。

答 法的には可能だが、大井・苗間第二土地区画整理事業区域を含めた一体的な住居表示の実施を視野に検討していく。

大井・東台地区の都市基盤整備

問 策定する都市計画マ

スタープランのまちづくり方針案は。

答 都市基盤が未整備な地区における道路、公園など居住環境の計画的、段階的な整備が課題であるため、地元の参画を得て居住環境整備の促進に努めるものとしている。

地域協働学校

問 学校運営協議会の委員の身分、人選で重視した点は。

答 委員は地方公務員法に規定する非常勤の特別職の地方公務員と位置付け、人選については、地域協働学校の目的を踏まえ、学校、保護者、地域住民等との信頼関係の下に協力し、子どもの学びと成長のために前向きな取り組みを推進する人を重視した。

問 国道254号バイパス沿道土地区画整理地内の雨水対策施設の規模と効果は。

答 バイパスの両側で、事業予定区域外の浸水軽減効果も考え、2万1500㎡の調整池を予定している。

問 福岡江川護岸工事の完成年度は。

答 今年度は谷田橋から約70mの区間の工事を完了している。残りの区間については、令和3年度までを計画している。

上福岡歴史民俗資料館の事業充実

問 専門職員の育成・配置は。

答 学芸員は、県内の各種研修会へ随時参加し、資質向上に努めている。

問 市民団体の育成は。

答 新たな人材育成のために郷土の歴史や文化に関する学習機会を設け、

協働による資料館事業の充実にも努める。

使いやすい江川緑道

問 江川緑道の大規模改修は。

答 国の交付金を得られるかどうか要件を検討することから始める。

避難所案内標識を見やすく

問 街路樹が伸びて見えにくいので改善を。

答 市民などから情報提供があった際には、剪定などの対応を行っている。今後も設置目的を踏まえた維持管理をしていく。



私道の問題解決を

塚越 洋一 議員

問 私道の現状は。

答 1294路線、延長は約50kmある。

問 私設の公共下水道管は今後どうするのか。

答 基準を満たせば市への採納を受けていく。

問 公道化による政策波及効果は。

答 宅地の市場流通が図られることが予想される。

都市計画マスタープラン

問 将来の人口減少時代に備え、首都圏近郊住宅都市としての生き残り戦略は。

答 職住近接、育住近接の新たなライフスタイルを創出し、持続可能な都市にしていく。また、企業誘致を行うことで、自主財源確保と雇用創出を進めていく。

問 富士見都市計画区域、つまり2市1町としての



問 市としての図書館運営の専門性をどのように維持して業者をチェック・指導していくのか。

答 12月議会に議案を提出する予定である。要求水準書に司書の有資格者を60%以上とすることを明記する。市も、司書有資格者を配置して業者をきめ細かにモニタリングする。

大井図書館の民営化問題

問 都市機能を発揮すべきでは。

答 広域的なスケールメリットを生かしていくためには2市1町の連携は大きな課題と認識している。

上福岡郵便局前の丁字路の歩行者などの安全対策は。

問 この交差点は店舗敷地内に築造される道路を含めた十字路を形成するほか、信号機を利用する。周辺道路の歩道拡幅等も計画している。

問 市役所周辺や上野台などの住宅地に車両が入り込まないように注意看板の設置を。

答 市では開発事業者との事前協議において、店舗誘導のための看板の設置を協議してきた。また、児童・生徒の安全確保のため、交通安全施設の設



イオンタウンの開発と安全対策

床井 紀範 議員

問 全体計画は。

答 計画の概要は、基本商圏5km圏内、人口約36万人。建物は鉄骨造3階建てで、賃貸面積約3万6000㎡、専門店数約130店、駐車台数約1800台となっている。

問 上福岡郵便局前の丁字路の歩行者などの安全対策は。

答 この交差点は店舗敷地内に築造される道路を含めた十字路を形成するほか、信号機を利用する。周辺道路の歩道拡幅等も計画している。



建設中のイオンタウン

イトーヨーカドー 閉店後のまちづくりは

問 市将来構想、都市計画マスタープラン等に基づいたまちづくりは。

答 民間事業者が共同住宅を建設する計画と聞いている。今後、動向を注視していく。



福岡江川の越流防止

足立 志津子 議員

議会報告会を開催します

開催日 令和元年 11月16日 土曜日

改選後、初めての議会報告会を開催します。

内容は、9月議会の報告と意見交換会です。あなたの声を聞かせてください。

午前の部

会場：市役所本庁舎5階 全員協議会室
時間：午前10時～正午(定員60名)

午後の部

会場：大井総合支所2階 ゆめぼると
時間：午後2時～午後4時(定員60名)

